

お口の中に入る金属を知ろう！

皆さんはご自分のお口の中に入っている金属について感じる事がありますか？

今日では毎日のように食の安全を脅かすニュースが後をたちません。では一体、患者様のお口に入る金属はどういった物なのでしょう。お口の中に自分の物以外で、外部から作製されたものが入るわけですから衛生面、金属の種類など、気にされている方は多いのではないのでしょうか？

大崎歯科で使っている金属とは…？

パラジウム合金（ツツミダ・スーパー・ハイキャスト）



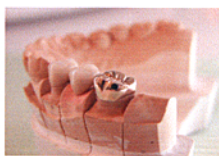
保険適用の被せ物に使われ、日本の保険制度上の合金で日本にしかない金属です。金12%、パラジウム20%、銀、銅を含み、変色はしないがお口の中に入ると、黒っぽく見えます。主にインレー、FCK、ブリッチに使用します。

銀合金（オーラル・ライト）



保険適用の銀74%を含む合金です。主にコア（神経のない歯の土台となる金属の芯）や乳歯の銀歯などに使用します。変色の可能性が高く歯茎が黒っぽくなる事もあります。

ゴールド（ロイヤル・ゴールド）



保険適用外の金色の金合金。金を50%以上含み、金特有の柔らかさで歯との馴染みが優れています。主にインレー、FCK、コア、インプラント上部構造体に使われます。変色はなくお口の中に入ると、白金のような色をしています。

コバルトクロム



強度が高い合金で銀色をしています。保険適用の部分入れ歯のフレーム、金具の部分に使われます。保険適用外の金属床義歯は温感をよくする為最適な材料です。

銀歯や入れ歯はどこで誰が作っているの…？

患者様のお口の中で型を採ったものは、“歯科技工所”で作られます。歯科技工所とは銀歯や入れ歯を作る工場、そこには銀歯や入れ歯を作るプロフェッショナルの“歯科技工士”がいます。当医院では5カ所の技工所と連携しており、患者様のお口の中の状況に合わせて被せ物を作製しております。

デンチャースタジアム…保険適用の銀歯、コア、ブリッチ、入れ歯、差し歯を作っています。

安心・安全・衛生面の充実をモットーに努めております。

A・D・L…保険適用の銀歯、コア、ブリッチ、差し歯、保険的用のコアを作っています。

“ひとつひとつの工程を確実に”を心がけています。

大崎歯工房…保険適用外の差し歯（メタルボンド）や入れ歯（金属床義歯）を作っています。

患者様に喜んで頂けるような入れ歯や差し歯を作ります。

アニム…保険適用外の差し歯、最先端治療のプロセラセミックを作っています。

美しさ、自然さを要する被せ物ならお任せください。

K'Sセラミック…保険適用外のゴールドの被せもの、インプラント上部構造体を作っています。

院長先生をはじめスタッフの方々から頂いた情報で最高の被せものを作製します。



A・D・L
比山 隆之



大崎歯工房
大崎 貴裕



アニム
茶木 利明